

資産運用リスク分散のためのコモディティ投資

アストマックス株式会社

ファンドマネージャー 江 守 哲

目 次

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. はじめに | 8. ポジションのロールオーバーとスプレッド |
| 2. なぜコモディティに投資するのか？ | 9. コンタンゴとバックワーデーション |
| 3. コモディティ市場の参加者の変化 | 10. スプレッドの重要性 |
| 4. リスク分散 | 11. インデックスファンドのロールコストの実態 |
| 5. コモディティ市場の将来性 | 12. 将来のコモディティ投資および運用手法の方向性 |
| 6. コモディティ市場での運用の実践 | 13. 最後に |
| 7. コモディティインデックスの構成銘柄と値動き | |

世界的にコモディティ市場への投資が拡大している。欧米では「コモディティ」は既に認知された投資対象であり、分散投資効果などの理由から今後もそのポジションは維持される可能性が高い。このような背景から、今後は国内でもコモディティ市場への関心が高まり、投資が拡大するものと思われる。本稿では、コモディティ市場の特徴とコモディティインデックス・ファンドの実態と運用について解説し、さらに今後のコモディティ投資の将来像について考察する。コモディティ投資に対する理解が深まれば幸いである。

1. はじめに

コモディティ市場への投資が世界的に活発になっている。コモディティ市場への投資金額は既に1,200億ドルに達しているとの試算もあり、その

多くが欧米の機関投資家や年金基金の資金であるとも言われている。中国などの新興国経済が急速に拡大し、これら新興国の素材需要の増加がコモディティ市場を牽引する新しい時代に入り、コモディティ価格は1990年代後半からの長期間にわ



江守 哲（えもり てつ）

1990年慶應義塾大学卒業後、同年住友商事に入社。非鉄金属取引に従事。96年英国住友商事（ロンドン駐在）。97年Metallgesellschaft Ltd. 入社、98年同社東京支店。2000年三井物産フューチャーズ入社。07年9月よりアストマックス株式会社のファンドマネージャーに就任。コモディティ市場に18年間関与するなど、日本におけるコモディティ市場取引の第一人者で、現在は資産運用業務にかかわっている。